

## 尾上 目揃い会で品質統一

尾上青果センターは5月27日、令和元年産房すぐりの目揃い会を開きました。生産者8人が参加し出荷規格などを確認しました。

参加した生産者は、結束本数や箱詰め作業などの出荷規格や今後の管理を確認。目揃い会では齋藤寿徳統括がサンプルを手に取り、ハサミを使って長さや枝の本数を切り揃え、出荷規格と基準について説明しました。

収穫は6月上旬にピークを迎え、7月上旬まで収穫されます。生産者10人で栽培し、約1万5千本を関東市場に出荷する予定です。



## 常盤 農作業体験で産地の栽培を知る

生活協同組合パルシステム東京の職員5人は、常盤基幹支店管内で6月1日と2日、田植えとりんご摘果の作業体験を行いました。農作業を体験して栽培について学ぶことを目的に「食と農業に関する基本協定」の一環として毎年実施しています。生産者とJA職員が作業を指導しました。

農作業を体験した職員は「実際に農作業を行い普段食べている農産物がどのように栽培されているかわかりました。とても貴重な体験でした」と話しました。

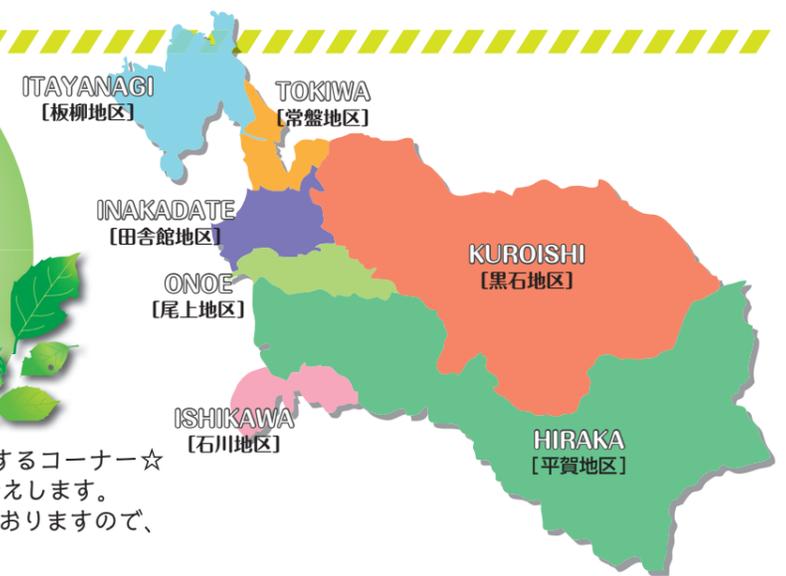
## 石川 新発売! 嶽きみソフトクリーム&シェイク

石川基幹支店管内の直売所サンフェスタいしかわで、新商品の嶽きみソフトクリームとシェイクが発売されました。弘前市嶽地区のとうもろこしから作られたピューレを使用しており、ミルクの風味とマッチしています。ソフトクリームとシェイクは各350円で販売しており、どちらも程良い甘さでさっぱりとした味が特徴です。これからの暑い季節にピッタリな商品ですので、是非お買い求めください。



## 板柳 交信かく乱剤で病害虫の発生抑制

津軽みらい農協板柳りんごSS部会（葛西雅人部会長）は5月31日、板柳基幹支店管内の園地2カ所で交信かく乱剤「コンフューザーR」の設置に関する講習会と配布を行いました。同基幹グリーンセンター小野真矢営農指導主任が病害虫の発生状況などを説明し、株式会社信越化学工業の小杉氏が効率的な設置の方法等についての説明を行いました。参加者は「設置する面積を拡大すれば更に安定して効果が得られるという話があったので、今後利用が増えることを期待する」と話しました。



その名の通り、支店発信の情報を紹介するコーナー☆各支店の広報委員が、身近な出来事をお伝えします。皆さまからのホットな情報もお待ちしておりますので、最寄りの支店へご連絡ください。



## 黒石 中国人技能実習生歓迎会

黒石中国農業技能実習生受入事業協議会は5月8日、山形支店で令和元年受入の技能実習生歓迎会を開きました。

同協議会の村上勝憲会長を始め、受入農家やJA役員ら約20人が出席しました。村上会長は「様々な研修を経て、これから本格的に実習が始まりますが、健康に気を付けて頑張ってください」と激励しました。

実習生7人は研修で学んだ日本語で自己紹介と意気込みを話しました。

## 平賀 知覧茶贈呈

平川市と友好親善交流盟約を結ぶ鹿児島県南九州市の教育委員会の有馬勉教育長と当JAと「北と南の交流協定書締結」を結ぶJA南さつまの柚木弘文組合長らは5月10日、同市内の小中学校13校に特産品の「知覧茶」を贈るため、平川市役所を訪れました。6月に30%、9月に30%を贈ります。

新茶の知覧茶を平川市立大坊小学校6年生5人に手渡し、受け取った児童は「知覧茶が好きなので嬉しいです。今年もおいしいお茶をありがとうございます」と感謝しました。



## 田舎館 手軽にきれいな寄せ植え作り

女性部みなみ支部田舎館班（中山静子班長）は6月4日、部員33人が集まり、花いっぱい運動として花の寄せ植えを行いました。

講師に桜庭るみ子さんを迎え、寄せ植えの花の選び方や植え方などのポイントを学びました。部員は華やかな出来栄に笑顔で喜びました。寄せ植えは田舎館基幹支店とグリーンセンターに置いてありますので是非ご覧ください。

また同日、フジ医療の職員を講師に迎え、耳の大切さを知るための健康講座を開きました。難聴の危険性や補聴器について学びました。